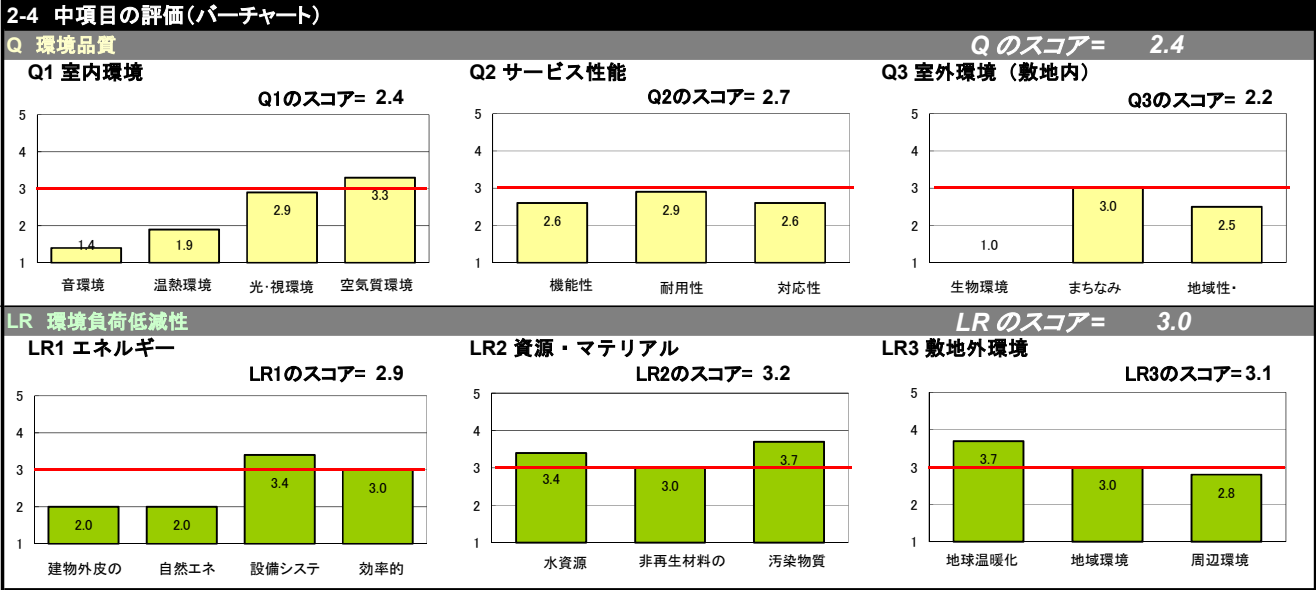
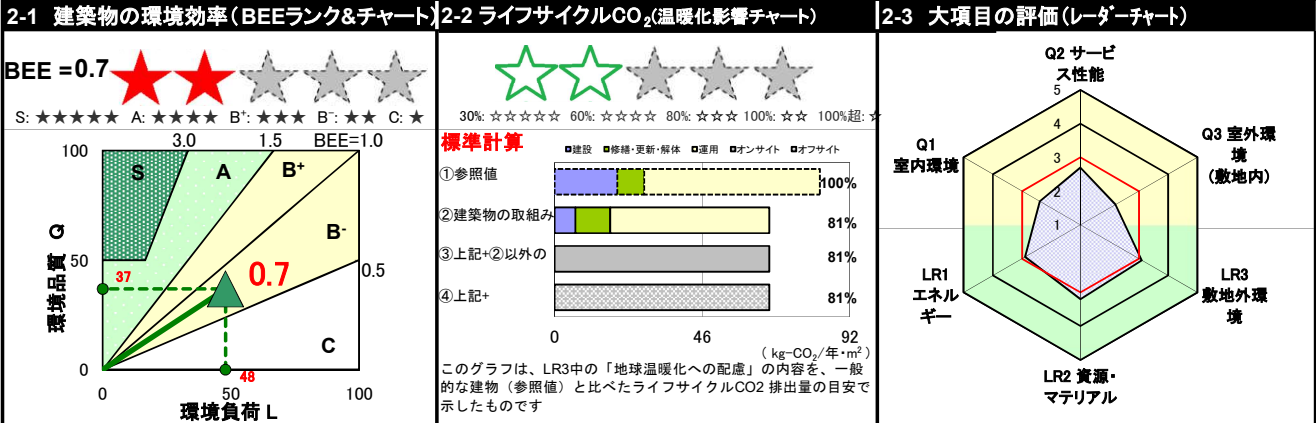


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2021年SDGs対応版_速報版 (使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2021SDGs(v2.3.4))

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	クイントット錦糸公園	階数	地上11F
建設地	東京都墨田区	構造	RC造
用途地域	商業地域、準工業地域、防火地域、	平均居住人員	166 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅、	評価の段階	竣工段階評価
竣工年	2024年9月 竣工	評価の実施日	2024年12月16日
敷地面積	553 m ²	作成者	佐藤 信
建築面積	335 m ²	確認日	2024年12月19日
延床面積	2,993 m ²	確認者	佐藤 信



3 設計上の配慮事項		
総合		その他
建物の用途、目的に応じ、可能な範囲で環境へ配慮した設計内容としている		特になし
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境(敷地内)
・室内の音環境に配慮し、遮音等級T2の建具を採用している ・室内の光・視環境に配慮し、1.5%以上の昼光率を確保している ・室内の昼光制御を考慮しカーテン・底の組み合わせ対策としている ・室内の空気環境に配慮しF☆☆☆☆建材をほぼ全面的に採用している	・心理性、快適性に配慮し住居の天井高さを2.3としている ・内装壁に防汚性の高い仕上げを採用し維持管理に配慮した設計としている ・清掃用資材の保管スペース確保など、維持管理用機能の確保に配慮している	・視線を遮らない樹木位置・夜間照明・防犯カメラなどにより防犯に配慮している
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
・設備システムの効率化により一次エネルギー削減率14%を達成している	・節水型水栓・節水便器を採用し水資源保護に配慮している ・部材の再利用工場の為、LGS下地により躯体と仕上げ材が容易に分別可能としている ・断熱材に吹付硬質ウレタンフォームA種1H (ODP=0GWP=1)を採用することで、フロン・ハロン回避に配慮している	・ライフサイクルCO ₂ 排出率81%となり一般的な建物と同等としている

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される